



育児等に関する両立支援制度のほか
フレックスタイム制やテレワークを活用するなど
柔軟な働き方が選択できる仕組みがあります。

出生サポート休暇

不妊治療で通院等をする場合に年5日取得可能
(第2子以降でも取得可能)

産前・産後休暇

産前6週間、産後8週間

育児時間

1年につき10日相当の時間まで勤務しないor
1日2時間まで勤務しないことが可能

育児短時間勤務

小学校就学前の子を養育する場合、
短い勤務時間で勤務可能

子の看護等休暇

小学校3年生までの子を看護等する場合に年5日
(2人以上は年10日)

育児参加のための休暇

男性職員が育児に参加するための休暇

育児休業

3歳未満の子の育児参加で2回まで取得可能



※一部の制度を紹介しています。

横井 克匡

YOKOI KATUMASA

妻と二人三脚で子育て中。
現在はテレワークやフレック
スタイム、休暇や育休等を利用
し、家事や育児などの家族との
時間を大切にしながら仕事を
続けています。



不安なことが何一つないほど、
サポートしていただきました。育休に入る前は、休みの期間や
必要な手続など、上司や職場の同僚に相談に乗ってもらいな
がら準備を進めることが出来、また、そのお陰で妻の出産後はス
ムーズに育休に入ることが出来ましたので、妻の妊娠報告から
仕事復帰まで不安は一切無く、安心して家族との時間を過ごす
ことが出来ました。育休取得や勤務時間の調整など、周囲の職
員の理解やサポートがあったからこそ、仕事を諦めず自分の
ペースで働きながら、家族との時間も大切に出来るというの
が、この職場で働けてよかったと思うところになります。また、
育児休業等を利用している職員は珍しくないで、使ってみた
生の感想を実際に聞いたりしながら、私自身も使いたいと言
い出しやすかったこともこの職場にいて良かったと思いました。

平塚 晶子

HIRATUKA AKIKO

現在1歳の長女が10か月の時
に保育園に預けて育休から職
場復帰しました。夜泣きをもっ
とも激しい時期で、復帰後数か
月は特に余裕のない日々でし
たが、職場の支援制度を使って
育児と仕事の両立生活をどう



にか軌道に乗せることができました。現在はフレックス制度を
活用して、週に数回早朝から勤務をすることで退勤時間を繰り
上げ、早い時間に保育園にお迎えに行くことができています。
次から次にやることに追われて毎日が運動会状態ですが、仕事
上の分担のうえでも配慮を受けており、定時で帰って親子で遊
びながら夕食を作る時間を確保できるなど、幼い子どもの負担
を減らせていることを実感しています。育休中、メディアや
SNSで育児と仕事の両立に悩む親世代の深刻な声を見聞きし
ていたので、復帰当初は非常に心配していたのですが、急な休
暇で迷惑をかけた際も、周囲に子の心配をしてもらうなど、あ
たたかい雰囲気職場環境で働けて感謝しています。また、各
種支援制度を有効に活用でき、働き方の自由度が高いことを実
感しています。